岩手県立大槌病院

施 工 地／岩手県上閉伊郡大槌町小槌第23地割字寺野1-1
竣工年月／平成28年3月
敷地面積／8,462.00㎡
施設規模／
病院本体　鉄筋コンクリート造地上3階建
延床面積5,352.00㎡
一般病床50床
医師公舎　鉄筋コンクリート造地上3階建
延床面積1,057.00㎡
戸数8戸
職員公舎　鉄筋コンクリート造地上4階建
延床面積1,258.00㎡
戸数30戸

大震災から復興し、再び地域医療を提供

岩手県立大槌病院は平成23年3月11日の東日本大震災による大津波を受けて全壊し病院機能が停止しました。同年6月には仮設診療施設として町内の高台に移転し診療を開始しましたが入院病床がなく、地域の入院患者様は町外の病院への受け入れ先に頼らざるを得ない状況が続きました。岩手県大槌町地域の人口動態は65歳以上の高齢者の人口比率が約35%と全国平均（約27%）を上回っております。被災した旧病院から約2キロ離れた津波浸水域外に移転完成した新病院は高齢者医療を中心として内科、外科、整形外科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科の6科を開設しております。地域医療の中核病院の完成により住民の皆様には最新の地域医療が提供できることになりました。

安心と信頼の病院をめざして

「患者さんのために、地域住民のために、良質な医療の復興を目指します」という大槌病院の基本理念を実現すべく、地域医療の実情を十分に考慮に入れて設計いたしました。

限られた敷地を有効に活用するために建物1階部分を駐車場としたピロティ形式を採用し32台の駐車と屋外に90台の駐車スペースを確保して通院患者様の利便性を高めております。

2階は総合受付をはじめ、開設診療科の各診察室と最新機能の検査機器を備えた各種検査室を集中させて中央部に配置することで患者様の移動の負担が軽減されるようにし、このセクションを中心に手術室、医局、調剤室、待合コーナー等を配置いたしました。
カウンターは車椅子利用者なども対応できるようローカウンターを付属させております。

3階は低床ベッドの4床室を中心に一般病床50床を備え、スタッフステーションから各病室をはじめ、デイルーム、リハビリテーション室、浴室等の諸室を回遊性がある動線といたしました。

これらにより医師・医療スタッフの医療行為の効率を高め、患者様への配慮が行き届く設計となっております。

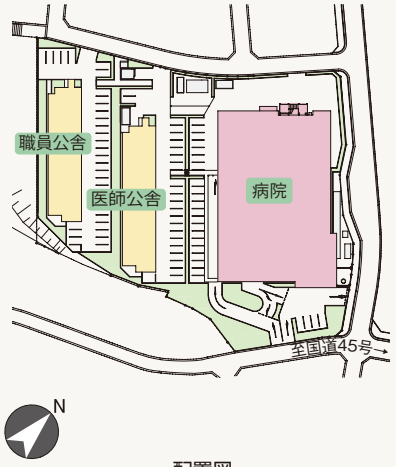
1階 駐車場

2階 ローカウンター付総合受付

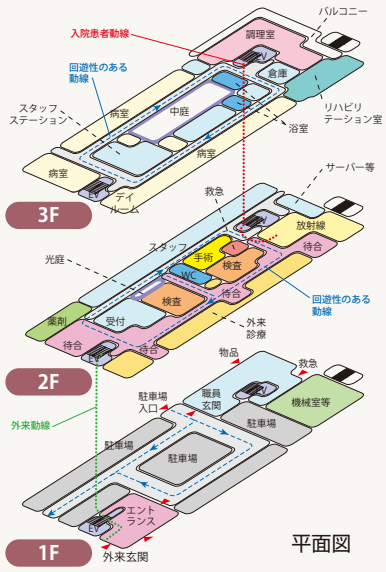
眼科診察室

配置図・平面図

病院敷地内の医師公舎（手前）と職員公舎（奥）



配置図



平面図

イラスト壁画があるX線検査室

CT検査室

低床ベッドの病室

リハビリテーション室